

～地球温暖化パネル～

気温上昇の将来予測

● 将来どうする？（RCPシナリオの意味）

気温は、将来どうなるのでしょうか。これを算出するには、まず、将来の温室効果ガス濃度がどれくらいになるかを想定する必要があります。ただし、濃度は、私達がどんな社会を作るかによって大きく変わります。

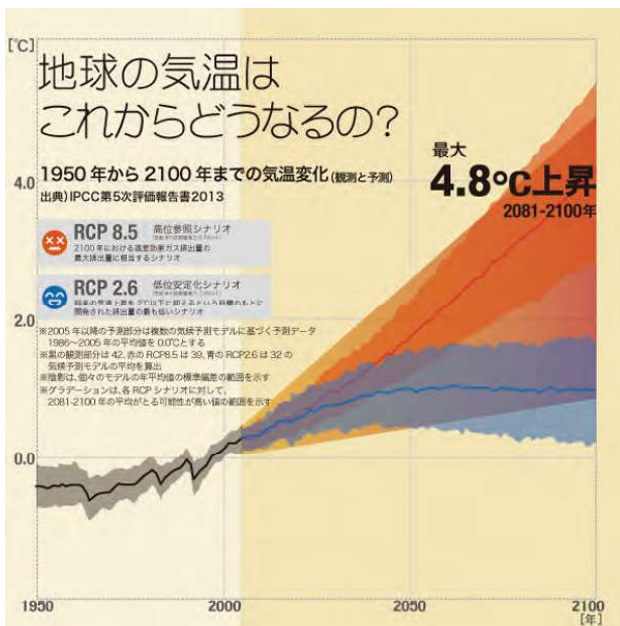
そこで、IPCCは、右のように代表的な4つのシナリオを想定し、これに基づいて、気温上昇などのシミュレーションが行っています。

IPCC 第5次評価報告書における RCPシナリオとは	
RCP...Representative Concentration Pathways (代表濃度経路シナリオ)	
略称	シナリオ (予測) のタイプ
 RCP 2.6	低位安定化シナリオ (世紀末の放射強制力 2.6W/m ²) 将来の気温上昇を 2°C以下に抑えるという目標のもとに開発された排出量の最も低いシナリオ
 RCP 4.5	中位安定化シナリオ (世紀末の放射強制力 4.5W/m ²)
 RCP 6.0	高位安定化シナリオ (世紀末の放射強制力 6.0W/m ²)
 RCP 8.5	高位参照シナリオ (世紀末の放射強制力 8.5W/m ²) 2100年における温室効果ガス排出量の最大排出量に相当するシナリオ

出典: IPCC第5次評価報告書および(独)国立環境研究所 地球環境研究センターニュースVol.18をもとにJCCCA作成。

全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.kcfca.org/>) より

● 気温上昇の将来予測



全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.kcfca.org/>) より

シミュレーションによると、気温は2100年までに、最大4.8°C上昇しその後も上昇が続くとされています。

ただし、これは「RCP8.5」によるもの。温室効果ガス排出削減を進めれば、気温上昇幅は低く抑えることが可能です。

「RCP2.6」を達成できたならば、気温上昇は産業革命から2°C未満程度で安定化させることができます。

KYOTO CENTER FOR CLIMATE ACTIONS

京都府地球温暖化防止活動推進センター(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)

〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町41番3

TEL:075-803-1128 FAX:075-803-1130 E-mail:center@kcfca.or.jp URL:<http://www.kcfca.or.jp/>